

令和4年度 放課後等ディサービス自己評価表

チェック項目		工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・指定基準以上にて設置しています。活動の際は個人ごとの机を用意し、適切なスペースの確保に努めています。
	② 職員の配置数は適切であるか	・利用希望状況を踏まえ日々の職員を配置し、適宜変更も行いながら法令の基準以上の人員配置をしています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・車いすを利用される方、歩行が困難の方のためにスロープ、手すり等設置されており、バリアフリーに対応しております。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	・日々のミーティングのほか、定期的に職員会議を実施し、その時点での情報共有を行ったうえで、支援内容の見直し、目標設定を随時行っています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・保護者アンケートを実施し、その内容を職員会議等で共有、改善につなげています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・ホームページへの掲載、および会報での情報周知を行っています。また、児童療育支援システム(HUG)上での公開も行っています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	・第三者評価は未実施ですが、介護体験等の実習生を受け入ること外部の客観的な視点や意見を取り入れています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	虐待防止研修や感染症予防研修及び発達障害等に係るポータルサイトの活用など職員の資質向上につながる研修を随時行っています。
適切な支援の	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	・定期的、最低でも6か月に一度モニタリングを行い、目標の達成度や今後の課題をご家族、関係機関と共有してサービス計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・事業所として統一したアセスメントシート、(フェイスシート)を使用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	・大まかな目標設定を全体で話し合い、実施に当たり役割分担を決め、立案、実施しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・週単位のプログラムは決定していますが、参加利用者の状況、あるいは天候、季節に合わせて内容は柔軟に対応しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	個別のプログラムの他、比較的時間の確保できる休日及び長期休暇中は体力面、コミュニケーション能力の向上が図れるようなイベントを設定しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか	個別支援計画をもとに、個々の児童の特性を理解した上で、個別と集団それぞれの必要性を考慮して作成しています。

提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・受入開始前の打ち合わせに毎日当日の受け入れ予定者、日程等をホワイトボードに掲示して確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・終了後の職員全体での時間確保が困難であるため、連絡シートを活用し、各々記入、当日、および翌日確認できるようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・日々の活動状況はHAGシステム上に個別に公開し、家族に報告、同時にご意見をいただいております。必要に応じ内容を共有、支援の検証に役立てています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・半年に一度以上モニタリングを実施、見直しをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	障害特性に応じ、個人や集団、屋内や屋外等、様々な状況に応じた活動内容を組み立て創作・運動を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・児童発達管理責任者のほか、状況をよく把握している担当者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	・あらかじめお預かりしている利用予定表のほか、学校から提供される年間予定、送迎時に教諭との口頭による確認を随時行っています。また、HUGシステムによりリアルタイムで申し込み、変更が可能となっております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・インテーク時に、主治医に状況を伺い、状況に応じ随時情報提供を受けています。通院状況も家族を通し情報提供を受けております。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・必要に応じ、ご家族の了解を得たうえで就学前の情報を取得し、支援内容に反映させています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	ご家族の同意を得たうえで、必要に応じて移行先事業所への情報提供は行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・受け入れに関して同事業所内の児童発達支援センターと連携、協力しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・本年度においても新型コロナ感染予防の観点から、極力公共施設の利用を控えています。ただ、公園遊びなどでは感染対策を行ったうえで近隣のお子様と遊具の共有をさせていただいております。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	・坂戸市総合支援協議会には会社代表や相談員が参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・連絡帳、送迎の際に、ご家族と直接情報のやり取りを行って共通理解に努めています。また、HUGシステムにより、リアルタイムでのご家族とのやり取りが可能となっております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・現状は行っていませんが、今後実施に向けて検討いたします。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時に実施していますが、その後も不明な点があれば随時説明を行っています。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・ご家族からの相談はその都度、対応しています。電話、連絡帳、HUGシステムなど、媒体に応じてそれぞれお返事しています。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・本年度においても新型コロナ感染予防の観点から保護者同士の交流の機会を控えています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・事業所に受付担当者、解決責任者を置き、苦情受付体制を整えています。迅速に対応し、ご家族の不満や不安の解消に努めています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・毎月、通信を発行し、これまでの活動状況や今後の予定、また事業所の連絡事項について発信しています。通信の個別配布と同時にHUGシステム上にて閲覧できる環境を整えています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	・個別のファイルは施錠できる書庫にて厳重に保管しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・絵カード、写真等、視覚的情報で伝達を行っています。また、スマホ、パソコン、紙媒体等ご家族の情報環境に合わせた情報発信を行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・地域自治会に加入しておりますが、新型コロナ感染予防の観点から、地域行事への参加は自粛しております。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・各種マニュアルは作成済み。ご家族には契約時に説明を実施。随時見直しを行い、職員にも定期的な確認を求めています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・年2回の避難訓練を実施しています。地震を想定しての訓練も並行して行っています。消防署員立ち合いでの消火訓練も実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・虐待防止委員会を設置し、担当者による虐待防止研修を実施しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・身体拘束の必要な事例は現在ありませんが、ガイドラインは示されています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・具体的なアレルギー食品を明らかにし、管理栄養士に伝達し、個別に対応しています。
	④⑬	インシデント事例集を作成して事業所内で共有しているか	・事象の大きさに関係なく報告書を作成し、職員間で共有し改善に努めています。